



ドイツ音楽療法センター

ハンブルク国立音楽演劇大学提携国際プログラム

臨床音楽セラピスト養成科

Das berufsbegleitende Ausbildungsprogramm "Klinische Musiktherapie"

2025年4月開講 第8期生 募集要項

はじめに

臨床音楽セラピスト養成科は、音楽療法の中でもとりわけプロフェッショナルな技法である深層心理学的な“サイコダイナミック音楽療法 Psychodynamische Musiktherapie”のメソッドを中心に、多様なニーズに対応する専門性の高い音楽療法士を育成する社会人コースです。この音楽療法は欧州とくにドイツ語圏においてスタンダードな非薬物療法として病院や施設で広く実施しています。

このコースが目指しているのは、治療的關係の中で音とことばを通して心のケアに携わることができる音楽療法士の育成です。医療、福祉、教育など幅広い分野で、子どもからご年配の方を対象に個人セラピーやグループセラピーを行います。心理カウンセリングと音楽即興のアプローチを活用するセラピストとして、先駆的に活動したい人に門戸を開いています。

カリキュラム

このコースはドイツ・ハンブルク国立音楽演劇大学大学院音楽療法学科と提携した日本唯一の**精神分析的音楽療法士養成プログラム**です。ドイツ音楽療法協会が規定する120単位の科目を履修します。欧州で発展した実践的かつアカデミックな方法論によって、目に見えない無意識の働きやこころの声を聴き、音と響きへの感受性を養いながら、抽象的で論理的な思考を深め、臨床能力を高めます。

このコースの特徴は、セラピストになるために必要な教育分析を重視していることです。そのため、受講者自身が音楽セラピーを受けて、気づきの体験を重ねていきます。具体的には**個人の教育分析**(50時間以上)、**グループ療法**(50時間以上)、**スーパービジョン**(50時間以上)の3タイプのトレーニングを経験します。教育分析は自己負担、グループ療法とスーパービジョンの一部も課外授業として自己負担となります(授業料に含まれません)。また、日本にはまだ定着していないメソッドを学ぶために、本場の「病院実習^(注1)」や海外教授陣による「ドイツ研修(通訳付き)^(注2)」の参加を奨励します。

(注1) ドイツの病院実習にかかる実習費は基本的に無料(渡航費・滞在費等は自己負担)

(注2) ドイツ研修は2年毎に開催。次回は2026年9月開催予定(任意参加で費用別途)

授業科目

*科目は追加・変更される場合があります

深層心理学的音楽療法概論、心理療法的音楽療法の基本、世界の音楽療法メソッド、臨床即興演習、古典&現代精神分析、対象関係論とモダン乳幼児心理学、心理療法講座、ミュージックバイオグラフィー、実践準備講座、倫理、文献講読、論文指導、臨床ピアノ奏法、ギター、音楽療法士のための音楽理論、声のセラピー、ゲシュタルト療法、身体と感性トレーニング（センサリーアウェアネス）、医学、精神医学、心療内科、実習指導、グループ音楽療法、スーパービジョン、相互セラピー、特別講座等

| 学年 | 目標 |
|-----------------|--|
| 1年目 エントリークラス | 各科目の基本を学び、自己を見つめて気づきを深める。 セラピストとしての適性について自ら考える。 |
| 2年目 ベーシッククラス | 理論的知識を深めながらセラピストとしての感受性を磨き、 セッションの事象を理解する。 |
| 3年目 アドバンスクラス | 相互セラピーおよび実習を通して実践力を高める。 症例からいろいろなアプローチを学ぶ。 |
| 4年目 修了クラス | 最終学年では研究論文を作成し、 自立したセラピストとして活動する。 |

*4年目の修了クラスは、半年間（前期のみ）です。

*内容や時間等に変更になる場合があります。

*カリキュラム外の「初級ドイツ語オンラインクラス」は希望者のみ別途申込み

資格認定証

臨床音楽セラピスト養成科本科の全課程修了および修了試験合格者には、提携校ドイツ・ハンブルク国立音楽演劇大学（Hochschule für Musik und Theater Hamburg）の名称を含むコース修了証および精神分析的音楽療法士の資格取得証書が授与されます。

休学制度

このコースのとくに1年目は、セラピストとしての適性について自ら考える期間になります。

また、ご自分のためにゆっくり勉強したい人、仕事、子育て、介護などと両立しながら学びたい人のためにも、休学制度を設けています。休学期間は最長3年間です。（注：年度により授業開催の曜日が異なります。復学の際にはご留意ください）

個別のご事情がある場合は、入学面談の際に遠慮なくご相談ください。

なお、入学後の授業欠席に伴う補講等に関しては、科目により対応が異なるため、授業開始後に各担当講師にお問い合わせください。

募集要項 【第8期生】

- 授業開始日：2025年04月06日（日）
- 課程：2学期制（前期04月-09月、後期10月-03月） / 全課程7学期（3年6ヶ月）
- 授業日：
 - ・対面授業：日曜日（年間24回）
 - ・online授業：土曜日（年間24回）
 - ・その他集中講座（年数回不定期） / グループ療法（曜日は選択可）など
- 課外（別途料金）：特別講習会、自己分析セラピー、スーパービジョン、ドイツ研修など
- 場所：主に明大前教室（京王線井の頭線「明大前駅」徒歩2分）
- 学費：入学金 110,000円（10万円＋消費税）
半期授業料 302,500円（275,000円＋消費税） *分納可
施設使用料年額 33,000円（3万円＋消費税）
- 定員： 約8名
- 入学資格：原則として以下の条件を満たすこと
 - ① 大学卒業以上または2年以上の高等教育（短大・専門学校等）を修めた人
 - ② 音楽経験があり、音で表現することが好きな人（演奏能力は問われません）
 - ③ 自分と向き合うことができる人（個人療法/グループ療法の経験者が望ましい）
 - ④ 就労経験のある人が望ましい
 - ⑤ ドイツの実習や研修に参加できる人が望ましい

「対面授業」と「オンライン授業」について

● 対面授業

* 日時：日曜日（2025年4月～2026年3月） / 前期・後期（各12回）

- ① 10:15-12:00 『はじめての臨床即興』
- ② 13:00-14:45 『精神分析古典理論の基礎』
- ③ 15:00-16:45 『心理療法的音楽療法の基本』

* 日程

前期：4/6.20 5/11.25 6/8.22 7/6.20 8/3.31 9/7.21

後期：10/5.19 11/9.23 12/7.21 1/18.25 2/8.22 3/8.22

（日程は変更することがあります）

* 海外在住講師の来日等に応じて、年に数回の集中講座や特別授業を実施します。

● オンライン授業

* 日時：土曜日（年間24回） 17:30-21:00の予定（食事休憩あり）

* オンライン授業の日程や時間帯は、受講生と講師が相談しながら調整できます。

* オンライン授業はZoomによるライブ配信です。（録画配信ではありません）

入学面接

- 日時：2025年02月09日（日）14時より
 - * 一人およそ20分程度の個人面談を行います。
 - * 各自の面接開始時刻は、1月下旬にメールでお知らせします。
 - * ご希望の面接時間帯がある場合は、申し込みの際に事務局にご連絡ください。
 - * 面接の中で音楽演奏をしていただきます。（任意曲を3分程度、楽器やジャンルは不問）
 - * 音楽に関する簡単な質問などをさせていただく場合があります。
 - * 面談は試験ではありませんので、リラックスしたお気持ちでご参加ください。
- 方法：対面
- 料金：無料
- 会場：明大前教室 Studio-Musiczine
京王線/井の頭線 明大前駅徒歩2分
東京都世田谷区松原 2-41-5

参考書：

『一番よくわかる楽典入門』（木下牧子監修ナツメ社）
『楽典一理論と実習』（音楽之友社）

入学面接を受ける前に

個人音楽療法を受けることや、ドイツ音楽療法センター主催の「サイコダイナミック音楽療法入門セミナー」「音楽心理療法のグループワークショップ」などの関連講座を受講して、音楽心理療法の特徴に触れておくことをお勧めします。

申込方法

下記の書類をメールでお送りください。

【必要書類】

- ① 入学申込書
 - ② 履歴書（写真付き・作文付き）
- ※どちらもPDF形式でメール送付してください

- 申込締切日：2025年01月26日（日）まで必着
- メールでの送付先：info@gmtc-jp.com ドイツ音楽療法センター事務局
- メール送信できない場合は、下記の住所まで郵便にてお送りください。

提出先：〒156-0043
東京都世田谷区松原 2-41-5
ドイツ音楽療法センター事務局

<メイン講師> *教科別五十音順

いのうえひとみ

井上 眸（音楽療法）：日本音楽療法学会認定音楽療法士/教育学修士。三重大学教育学部音楽教育コース卒業、同大学院教育学研究科音楽教育専修修了。在学中より緩和病棟および高齢者療養病棟における音楽療法、子どもと家族のための芸術療法プログラムに携わる。修了後、生活介護事業所、保育所、児童発達支援センター、学童保育等において、音楽療法士・音楽講師として勤務。

うちだひろみ

内田博美（音楽療法）：ドイツ認定Diplom音楽療法士/教育学修士/Ph.D. candidate。国立音楽大学ピアノ科卒業、横浜国立大学大学院教育学研究科修了、ミュンスター大学音楽療法科修了。同大学院博士課程在学中に著作『音楽療法の本～もう一人の自分と出会う』（アルク出版企画）を出版。2010年から東京を中心に講師およびセラピストとして深層心理的音楽療法の指導と普及にあたる。

かまたなみ

鎌田菜美（音楽療法）：ドイツ認定Diplom音楽療法士/ドイツ音楽療法協会認定音楽療法士/音楽トラウマ療法士/システム論的音楽療法士/音楽療法教育分析家/声楽家。国立音楽大学声楽科卒業、ミュンスター大学音楽療法科修了。在学中より児童思春期精神科及び成人心療内科の現場実習で経験を積み、多田房代氏のアシスタントとして障害者施設の音楽療法に携わる。2003年よりミュンヘン郊外の精神科病院 Inn-Salzach-Klinikumにて常勤音楽療法士として勤務、精神科及び心療内科の入院病棟、デイクリニック、外来をはじめ、老年科病棟、依存症病棟、児童思春期精神科、司法精神科、脳神経科で個人及びグループ療法を行う。2019年にバイエルン文化賞受賞。ミュンヘン在住。

きのあつこ

紀野温子（音楽療法）：ドイツ認定Diplom音楽療法士、同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽コース卒業、ドイツSRHハイデルベルク大学音楽療法科修了(M.A.)。在学中より、児童・青年精神科、老年科病棟、障害者施設等で研修を積む傍ら介護施設や音楽教室にて音楽療法を行う。卒業後はザールランド州の心療内科で常勤音楽療法士として勤務し、2020年帰国。現在、フリーランスの音楽療法士として働いている。

こみやだん

小宮暖（音楽療法）：米国認定音楽療法士（MT-BC）/分析的音楽療法士（AMT）、桐朋学園大学ピアノ科卒業、ニューヨーク大学大学院音楽療法科修士課程修了。2005年より分析的音楽療法の個人開業（現在：横浜）。桐朋学園、国立音楽大学 非常勤講師。桐朋学園での「体育講義」では音楽家の心の健康問題を音楽療法的観点から扱い、毎年多くの学生が履修している。著書『芸術家のための分析的音楽療法』、訳書：ケネス・ブルシア【編著】『音楽心理療法の力動』

しょうじまさやす

庄子雅保（臨床心理学・精神医学）：公認心理師，臨床心理士；北海道医療大学看護福祉学研究科，九州大学病院心療内科にて臨床心理学，心身医学，健康心理学を学ぶ。国立精神・神経センター精神保健

研究所，同センター国府台病院，山梨大学医学部附属病院などでの勤務を経て，現在早稲田大学保健センター勤務，チュービンゲン大学博士課程後期在籍中

まつしたてるお

松下映夫（医学）：医学博士。東北大学大学院理学研究科（修士）を修了した後、慶応大学医学部・専任講師（薬理学）、国立癌研究所（米国）・訪問博士研究員、東レ株式会社医薬研究所・研究室長、独立行政法人（現：国立研究開発法人水産研究教育機構）水産大学校・教授などの研究・教育職を経験し定年退職後は関東リハビリテーション専門学校の非常勤講師として、また、千葉大学発ベンチャー企業である株式会社サーマスの最高顧問として生理学の講義や技術指導（食品の栄養生理機能）を行う。

あいざわたかし

相澤 隆（研究方法）：西洋史学者。東京大学名誉教授。東大文学部西洋史学科卒、ドイツ・ヴュルツブルク国立大学留学を経て同大学院博士課程満期退学。1990年東大教養学部助教授、1996年同大学大学院総合文化研究科助教授、2000年より教授。2018年退職後に名誉教授就任。専門は中世ドイツ史。

ドイツ音楽療法センター

〒156-0043

東京都世田谷区松原 2-41-5

TEL: 090-2130-9578

Email: info@gmtc-jp.com

